



江澤義典名誉教授略歴 (2018年3月31日)

雑誌名	情報研究 : 関西大学総合情報学部紀要
巻	49
ページ	11-14
発行年	2019-01-30
URL	http://hdl.handle.net/10112/16846

江澤 義典 名誉教授 略歴 (2018年3月31日)

1 学歴

- 1970年3月 大阪大学基礎工学部電気工学科卒業
- 1972年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻修士課程修了
- 1975年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士課程修了

2 職歴

- 1975年4月 関西大学工学部・助手
- 1976年4月 関西大学工学部・専任講師
- 1979年4月 関西大学工学部・助教授
- 1988年4月 関西大学在外研究員として米国フロリダ州立大学客員教授（任期1年）
- 1994年4月 関西大学総合情報学部・教授
- 2004年4月 関西大学在外研究員として豪州国南オーストラリア大学客員研究員（任期半年）
- 2015年4月 関西大学・名誉教授
- 2018年3月 関西大学総合情報学部・定年退職

研 究 業 績

[著書]

- [1] データベース入門, 共著 (分担執筆), パワー社, 7頁-38頁, 1984年.
- [2] データベースと相談システム, 共著 (分担執筆), パワー社, 9頁-38頁, 1988年.
- [3] ファジィ・ニューラルネットワーク, 共著 (馬野), 朝倉書店, 96頁-107頁, 1996年.
- [4] 新・情報社会人のすすめ, 共著 (分担執筆), ぎょうせい, 1頁-22頁, 1997年.

[翻訳]

- [1] 日本で実を結んだファジィ論理, 単著, bit, 25巻, 4号, 4頁-13頁, 1993年.
- [2] IT社会の法と倫理, 共著 (分担執筆), ピアソン・エデュケーション, 341頁, 2002年.
- [3] IT社会の法と倫理 (第2版), 共著 (分担執筆), ピアソン・エデュケーション, 436頁, 2007年.

[学術論文 (査読あり)]

- [1] 分離可能なグラフを生成するウェット文法, 共著 (安部, 水本, 豊田, 田中), 電子通信学会論文誌, 55-D 巻4号, 294頁-295頁, 1972年.
- [2] ウェット文法とウェットオートマトン, 共著 (安部, 水本, 豊田, 田中), 電子通信学会論文誌, 56-A 巻4号, 234頁-241頁, 1973年.
- [3] インタラクティブ言語, 共著 (山内, 水本, 豊田, 田中), 電子通信学会論文誌, 56-D 巻11号, 670頁-671頁, 1973年.
- [4] 関係データグラフ, 共著 (都司, 水本, 豊田, 田中), 電子通信学会論文誌, 58-D 巻9号, 586頁-587頁, 1975年.
- [5] インタラクティブシステムとその生成言語, 共著 (水本, 豊田, 田中), 電子通信学会論文誌, 58-D 巻11号, 665頁-672頁, 1975年.
- [6] Interactive Languages, 共著 (水本, 豊田, 田中), Journal of Computer and System Sciences, 12巻1号, 49頁-63頁, 1976年.
- [7] Robust Fuzzy Reasoning, 共著 (A. Kandel), International Journal of Intelligent Systems, 6巻2号, 185頁-197頁, 1991年.
- [8] Applications of Fuzzy Sets and Approximate Reasoning, 共著 (D. Schwartz, G. Klir, H. Lewis), Proceedings of the IEEE, 82巻4号, 482頁-498頁, 1994年.
- [9] 人文科学におけるデータベース—「あいまいデータ」のコンピュータ処理—, 単著, 人文学と情報処理, 13巻, 72頁-76頁, 1997年.
- [10] データベースにおける情報倫理, 単著, 人文学と情報処理, 19巻, 7頁-13頁, 1999年.
- [11] IT革命と情報倫理, 単著, システム/制御/情報, 第45巻9号, 523頁-527頁, 2001年.

- [12] Comments on “State-Feedback Control of Fuzzy Discrete-Event Systems”, 共著 (Y. Cao), IEEE Transactions on Systems, Man and Cybernetics, Part. B 41巻, 4号, 1170頁-1172頁, 2011年.
- [13] Nondeterministic fuzzy automata, 共著 (Y. Cao), Information Sciences, 191巻, 86頁-97頁, 2012年.

[学術論文 (査読なし)]

- [1] 情報倫理構築の構造—技術的視点—, 単著, 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第18号, 1頁-9頁, 2002年.
- [2] 大学における情報モラル教育支援環境の課題, 共著 (小林孝史, 中芝義之), 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第21号, 1頁-10頁, 2003年.
- [3] ITモラル教育と情報セキュリティ実習, 共著 (小林孝史), 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第21号, 50頁-77頁, 2004年.
- [4] 高校普通教科「情報」とスキル教育, 単著, 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第24号, 1頁-11頁, 2005年.
- [5] JavaScriptプログラミングと情報教養教育, 単著, 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第26号, 1頁-10頁, 2007年.
- [6] 科学リテラシーと高校教科「情報」について, 単著, 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第30号, 23頁-36頁, 2009年.

[その他]

- [1] ファジィ修飾語, 単著, 日本ファジィ学会誌, 3巻4号, 683頁-688頁, 1991年.
- [2] Implementation of Backward Fuzzy Reasoning in Fuzzy Production System, 共著, International Fuzzy Engineering Symposium, 1991年.
- [3] Shift-type Linguistic Hedges and Structure of the Universe of Discourse, 共著, Proceedings of the Fifth IFSA World Congress, 227頁-230頁, 1993年.
- [4] 法学教育とコンピュータ, 単著, 関西大学法学研究所研究叢書, 第9冊9巻, 59頁-97頁, 1993年.
- [5] 学生意見聴取システム (ESCORT) の設計・開発と運用事例, 共著, 関西大学情報処理センターフォーラム, No.9, 29頁-37頁, 1995年.
- [6] 法学教育におけるコンピュータの利用, 単著, 関西大学法学研究所研究叢書, 第11冊11巻, 209頁-248頁, 1995年.
- [7] 自律分散系における柔らかない協調機構について, 共著, 第11回ファジィシステムシンポジウム, 113頁-114頁, 1995年.
- [8] 有害情報は受信者の判断に委ねるべきか? 単著, アイメッツ, 3巻127号, 72頁-75頁, 1997年.

- [9] 人文科学研究のための情報処理 [第2巻ベータベース編], 共著, 尚学社, 9頁-63頁, 1998年.
- [10] ホームページの品性評価法について, 共著, 第14回ファジィシステムシンポジウム, 743頁-744頁, 1998年.
- [11] サーバ型フィルタリングシステムとホワイトリスト, 共著, 第3回コンピュータ犯罪に関する白浜シンポジウム, 1999年.
- [12] ウェブアクセスにおけるプライバシー選好, 共著, 第15回ファジィシステムシンポジウム, 1999年.
- [13] 夢を叶えるために: マッキントッシュ氏講演録, 共著, 関西大学総合情報学部紀要「情報研究」, 第11号, 223頁-232頁, 1999年.
- [14] 情報倫理教育について, 単著, 電子情報通信学会技術報告, FACE99-37, 1999年.

[編集・執筆]

- [1] 情報A, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2006年.
- [2] 情報B, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2006年.
- [3] 情報C, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2006年.
- [4] 新・情報A, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2007年.
- [5] 新・情報B, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2007年.
- [6] 新・情報C, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2007年.
- [7] 情報の科学, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2013年.
- [8] 社会と情報, 高等学校情報科用検定教科書, 日本文教出版, 2013年.

[監修]

- [1] INFOSS 情報倫理, オンライン倫理学習教材, 日本データパシフィック, 2010年-2018年.
- [2] 高校INFOSS 情報倫理, オンライン倫理学習教材, 日本データパシフィック, 2013年-2018年.